

# 新幹線系魚川駅の デザイン案(3案)が示されました

問合せ 都市整備課 新幹線推進係 ☎ 552-1511

10月29日、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線第二建設局（以下「鉄道・運輸機構」）の齋藤局長が市役所を訪れ、米田市長に新幹線系魚川駅のデザイン案（3案）を提示しました。

デザイン案は、平成19年2月に鉄道・運輸機構に提出した市のデザイン要望と、糸魚川ジオパークのイメージなど、糸魚川らしさを反映してデザインされたものです。

市は、今後、糸魚川市新幹線駅舎デザイン検討委員会の意見などを基に、3案から1案を選定し、鉄道・運輸機構に推薦します。



デザイン案提示の様子

## 平成19年2月提出 鉄道・運輸機構への市のデザイン要望

～日本海、北アルプス、ヒスイをシンボルとして～

- 駅舎の外観は、北側は日本海、南側は北アルプスのイメージで
  - ・ 四季折々の表情豊かな日本海と北アルプスがホームから眺望できるように
  - ・ 自由通路は、北口は“日本海口”、南口は“アルプス口”とします
- “糸魚川らしさ”が感じられるようなデザインを
  - ・ 糸魚川の自然・文化・歴史の要素をポイント的に盛り込むような工夫を
- 糸魚川の街並みとの調和を図るとともに、新幹線施設（の高さ）から受ける圧迫感を低減させるデザインを

## A案

## 「地域の伝統と新しい街づくりの融合を感じさせる駅」

- ・ 糸魚川の伝統的な街並みである雁木通りを現代風にアレンジし、地域の発展性をイメージしたデザインとしています。
- ・ 地層の重なりをイメージした壁面によってジオパークの多様性を表現しています。
- ・ 壁面の白は、日本海の波と北アルプスの雪を表し、透明感のあるガラス窓によって日本海と北アルプスの眺望を可能なものとしています。

